

KONAN TODAY

100周年記念

特別編集号

100
100th ANNIVERSARY



2019
SPRING

No. 55



● 100周年記念特集

私たち甲南学園の100年
それは、絶えざる革新の軌跡

甲南学園 理事長

吉沢 英成

甲南大学 学長

長坂 悦敬

甲南高等学校・中学校 校長

山内 守明

KONAN TODAY No.55

2019年3月27日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL.078-431-4341 (代)

<http://www.konan-u.ac.jp>

100
100th ANNIVERSARY
KONAN GAKUEN

甲南学園の100年

Precious time behind us ～豊潤な時を讀えて～

『平生鈇三郎日記原本』

平生鈇三郎日記全18巻の翻刻が完成した。今後、さらに多くの方々によって、新たな平生像が語り継がれるよう期待したい。日記とは、その執筆者と時空を超えてつながることのできる、いわば人生の指南書とも言えよう。

この日記には、大正2（1913）年から昭和20（1945）年という激動の時代を生き抜いた平生の日常のみならず、甲南教育への想い、さらには時局への感慨や数多の知己との交誼など、多岐にわたる内容で充ちている。学園創立100周年にあたり、改めて平生が理想とした人物教育への道程をたどる縁としていただければと願っている。



上：大正3年の日記。新聞記事などの切り抜きが張り付けられている。

下：昭和15年の日記。英語やロシア語が文中に多用されている。

SPECIAL ISSUE

100周年
記念特集

私たち甲南学園の100年 それは、絶えざる革新の軌跡

各々の天賦の才を引き出す人物教育を礎に、長い歴史を超えて引き継がれてきた平生精神。

その揺るぎない理念を根底に、時代に応じた理想の教育をたゆまず求め続け、私たちの学園は100年を迎えます。

学園創立者・平生鈺三郎が描いた理想への道程はまだまだ続きますが、この節目を機に、

甲南学園 吉沢理事長、甲南大学 長坂学長、甲南高等学校・中学校 山内校長の3名が、新たな100年に向けた思いを語ります。



KONAN TODAY

2019 Spring | No. **55**

100周年記念
特別編集号

CONTENTS

02 100周年記念特集

私たち甲南学園の100年 それは、絶えざる革新の軌跡

03 理想の教育を求め、新たな100年へ

甲南学園 創立者 平生鈺三郎

04 甲南学園 理事長 吉沢 英成

05 甲南大学 学長 長坂 悦敬

06 甲南高等学校・中学校 校長 山内 守明

07 100年、その先へ。

大学生・大学院生のメッセージ

09 特集

「関西湾岸SDGsチャレンジ」

大学生と高校生が

地域の課題解決にチャレンジ！

SDGs × 甲南大学

13 なるほど！甲南アカデミア

文学部 社会学科 教授 中里 英樹

今を変えるのは、働き方改革か？

ジェンダー意識の変革か？

男性が当たり前のように、

育児を担う社会はやってくるのでしょうか

15 さまざまな分野の第一線で活躍する卒業生

It's KONAN Style 映画俳優 曾我 真臣 さん

話題作『カメラを止めるな！』への出演

作品の熱い思いを直接観客へ届ける注目の俳優

17 高中 Topics

その思いが絆となり、花園まで一歩前進！

高校ラグビー部

Report

アメリカ NASA・FIT

サイエンスツアー 2018

19 KONAN TOPICS

甲南学園から“旬”のニュースをお届けします

23 岡本ぶらり 第5回

通学路のあの店、あの味

25 平生鈺三郎日記刊行記念シリーズ

平生鈺三郎が目撃した二・二六事件

27 タイムトリップ Memories vol.03

29 KONAN FORUM

課外活動成果報告／新刊一覧 ほか

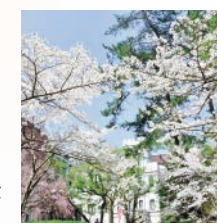
裏表紙 甲南学園の100年

左／甲南大学 学長 長坂 悦敬

中／甲南学園 理事長 吉沢 英成

右／甲南高等学校・中学校 校長 山内 守明

(撮影場所／iCommons 2階Agora West)



表紙の1枚

桜色に包まれる岡本キャンパス

理想の教育を求め、新たな100年へ

1911(明治44)年、六甲山の麓に理想の教育の場を求め開設された幼稚園から、甲南の歴史は始まる。さらに平生鈆三郎が、その後、安宅弥吉や伊藤忠兵衛らの協力をえて、1918(大正7)年12月、財団法人甲南学園私立甲南中学校設置認可を受け、翌年に甲南中学校を、今の甲南大学岡本キャンパス(神戸市東灘区岡本)の地に開校し100年を数える。



ひらお はちぶろう

甲南学園 創立者 平生鈆三郎

武門の家に生まれ、東京海上火災保険をはじめとする損害保険業界の近代化に貢献、川崎造船所を再建するなど実業家として活躍。甲南病院の設立など社会事業にもかかわりが深く、政界においては、広田弘毅内閣の文部大臣として義務教育の年限延長、師範教育の改善を提唱し、教育界に大きな功績を残した。

『人格の修養と健康の
増進を重んじ、個性を尊重し、
各人の天賦の特性を啓発させる』
『世界に通用する紳士・淑女たれ』

1918(大正7)年	財団法人甲南学園私立甲南中学校の設置認可
1919(大正8)年	甲南中学校開校
1923(大正12)年	財団法人甲南学園に改称 7年制甲南高等学校を開校
1937(昭和12)年	学園創立者平生鈆三郎の肖像を建立
1938(昭和13)年	阪神大水害により、校内が土砂・浸水等の被害
1945(昭和20)年	学園創立者平生鈆三郎が永眠
1947(昭和22)年	学制改革により新制甲南中学校を開校
1948(昭和23)年	学制改革により新制甲南高等学校を開校
1950(昭和25)年	私学法により、学校法人甲南学園と改称
1951(昭和26)年	甲南大学を開学。文理学部を設置
1952(昭和27)年	経済学部を増設
1957(昭和32)年	文理学部を文学部と理工学部に分離
1960(昭和35)年	法学部と経営学部を増設
1963(昭和38)年	甲南高等学校・中学校、神戸市(岡本)から現在の芦屋市に移転
1964(昭和39)年	甲南大学に大学院を設置
1969(昭和44)年	甲南高等学校・中学校新校舎竣工
1991(平成3)年	学園創立50周年記念式典を挙げる
1995(平成7)年	フランスにトゥレーヌ甲南学園(高等部・中等部)を開校 阪神・淡路大震災により、大学院生、学生、生徒、同窓生ら37名が犠牲。校舎の大半が倒壊
1997(平成9)年	甲南大学、高等学校・中学校新校舎竣工
2001(平成13)年	理工学部を理工学部に変更
2004(平成16)年	法科大学院を開設
2006(平成18)年	会計大学院を開設
2008(平成20)年	知能情報学部を増設
2009(平成21)年	学園創立90周年記念式典挙げる
2013(平成25)年	マネジメント創造学部(CUBE)を増設
2014(平成26)年	フロンティアサイエンス学部・研究科(FIRST)を増設
2017(平成29)年	フランス甲南学園トゥレーヌ(2007年校名変更)を開校
2019(平成31)年	中学校 新コース制導入(フロンティア・コース アドバンス・コーススタート) KONAN INFINITY COMMONS(愛称:Commons)竣工 学園創立100周年

※年譜一部抜粋

平生精神を大切に
甲南の規模だからこそ
できる環境で
進化を続けていく



甲南学園 理事長

よしざわ ひでなり
吉沢 英成

状況でしたが、一丸となって復興へ進むことができたのは、この肖像があったからともいえます。これを機に、教育家で実業家、社会事業家でもあった平生鈆三郎という人物やその教育に対する深い思いについて、私をはじめ教職員が改めて学び、日常的に意識するようになりました。

甲南教育の伝統を生かし
新たな展開へ

平生鈆三郎先生が甲南学園を創立してから、100年の節目を迎えようとしています。この間、何世代にもわたり、甲南で教育を受けた学生たちが学び舎を巣立っていきました。私自身、長年教育の現場に立ち、2006年より学園理事長を拝命していますが、脈々と受け継がれてきた100年の歴史を語るうえで、風水害や戦争、震災などのさまざまな試練・苦難にさらされながらそれを乗り越えてきたことも忘れてはなりません。

実際に体験した1995年に起きた阪神・淡路大震災では、神戸の街が一瞬で変わり果て、学園も学生らの尊い命を失い、校舎も甚大な被害を受けました。しかし、
『平生精神 今なお健在』とばかりに平生先生の肖像はしっかりと前を見つめ、私たちを奮い立たせているかのようでした。大変な



近年の動きを振り返ると、専門職大学院の開設や、学園創立90周年の2009年には西宮にマネジメント創造学部(CUBE)を、ポートアイランドにフロンティアサイエンス学部(FIRST)を増設し、併せて先端生命工学研究所(FIBER)を移設しました。CUBEでは、21世紀の寺子屋教育をめざして、先生も学生とともに考え学び成長するスタイルを実践し、平生先生の考え方に基づく教育理念や人物教育を提



供しています。FIBERをはじめ理系学部も高い研究力を誇っており、2018年に発行された世界的科学誌『Nature』の特別企画冊子で「高品質な科学論文を効率的に発表している大学」が掲載され、本学が国内、国公私立780あまりの大学の中で3位にランキングされるなど、着実な成果をあげています。

少子高齢化やデジタル技術の超高度化など、学園を取り巻く環境が大きく変化していく中、われわれは平生先生が提唱した個性を尊重し自ら考える力を育む人物教育を率先する平生精神をもとに、甲南の規模だからこそできる学びの環境を最大限に生かしつつ、時代に合わせて進化していく必要があります。100年の歴史をもつ学校は日本でもそれほど多くはありません。100周年は得がたいすばらしい機会です。これを機に、甲南新世紀のさらなる成長へ教職員一丸となって挑んでいきます。

100年間積み上げてきた 革新を礎に ミディアムサイズの 総合大学で 無限の可能性を引き出す



甲南大学 学長

ながさか よしゆき 長坂 悦敬

人物教育に
ふさわしい場を求めて

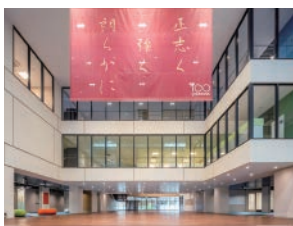
本学は、創立者・平生鈆三郎先生が打ち立てた「建学の理念」を柱に、一世紀にわたって新たな挑戦を続けてきました。

「個性を尊重して天賦の特性を伸長させる人物教育」という、平生先生の理想を追求し続けてきた成果は、学部を越えて学生・教職員が融合できるサイズでありながら、人文・自然・社会科学の3分野を備える「ミディアムサイズの総合大学」だからこそできる質の高い教育に結びついています。



ンパスの整備と魅力化、教育改革の基盤整備などに努めてきた成果は、着実に現れてきています。

たとえば、顔がわかる少人数教育では1授業あたりの定員150人以下を目標とし、達成率94%となりました。学生の能力を可視化する「KONANサートیفिकイト」では2018年度に64人を認定、初年次から学部の垣根を越えて学ぶ姿勢を実践的に身につける「共通基礎演習」は1学年2000人中800人が受講する科目へと発展しています。そのほか、融合型グローバル教育、地域連携教育、キャリア創生共通科目などによる新たな取り組みも、本学独自の取り組みとして定着しつつあります。



甲南教育の新たな100年に向けては、伝統のうえにたゆまぬ革新を重ね、「人物教育の甲南」と評される大学としてその使命を果たすために、「KONAN U. VISION 2020—甲南新世紀ビジョン—」を定めました。このビジョンの実現をめざし、教育学新機軸の確立、Active-Interactiveキャ

「正志く強く朗らかに」で前へ
現在、KONANプレミア・プロジェクトでは、新たな魅力を創出する9つのテ

中学校の誕生から

100年。原点としての

役割と使命を胸に 新たな世紀の 「ひと創り」を担う



甲南高等学校・中学校 校長

やまうち もりよし 山内 守明

建学理念を継承し、
ミッションの実現へ
進化する教育ビジョン



甲南中学校が産声を上げた1919年4月21日、現在の甲南学園へと続く飽くなき挑戦の時計は動き始めました。そのことに思いを馳せると、甲南高等学校・中学校が礎として担ってきた役割と果たすべき責任が、おのずと明らかになります。

振り返れば、いつの時代も私たちは「徳・体・知の調和のとれた、人間性豊かで自立心を備えた『世界に通用する紳士』を育成する」という建学理念を柱に進化を続けてきました。理念を単なる謳い文句にせず、それぞれの時代において、実現することが使命だと一貫して考えてきたからに、ほかなりません。

100周年を迎えるにあたり策定した教育ビジョンは「学びに集い 正志く強く共に成長する」。創立者・平生鈆三郎先生の遺志を継いだビジョンを6つの教育目標



「健全な心と体を育む」「天賦の才を引き出す」よりよく生きるための教養を育む」「自主・自立の精神を育む」「共働互助の精神を育む」「グローバル社会に貢献しうる社会的使命を育む」として明確化し、ハード・ソフト両面で具体的な施策に落とし込みました。ハード面では、すでに体育館、甲友会館、スポーツ屋内練習場の整備を完了し、今年度には全館エー化も実現。これにより生徒と教員がインタラクティブにやりとりしながら学ぶ、先進的なICT教育を推進してまいります。

共に学び成長する
実り豊かな磁場として
オンリーワンの甲南へ

ソフト面では、先に述べた6つの目標に即して各教科はもちろん学校行事、クラブ活動などのすべての面において一層きめ細かな施策を実施し、さらなる教育の質の向上を図ってまいります。すでに2014年に導入したコース制では、進学実績のみを目的とするのではなく、人物教育を軸に据えながら新時代の人材観・学力観に基づいたグランドデザインを描き、教育を展開してきました。「フロントランナー・コース」「アドバンスト・コース」という個性的なコース名が示すように、私たちが見つけているのは大学受験の先にある未来。両コースともに将来のキャリアを視野に学び進められる環境を整え、グローバル時代をリードする人材の育成に力を入れてまいります。



100年、その先へ。

100
100th ANNIVERSARY
KONAN GAKUEN

100周年を盛り上げるため、
大学生・大学院生のみなさんに、
「がんばっていること」「めざす姿や目標」
「座右の銘」などを自由に書いていただき、
撮影を行いました。写真は各キャンパスの
デジタルサイネージに投影しております。
ご協力いただいたみなさん、
ありがとうございました。
学生の生き生きとした姿をぜひ
誌面でもご覧ください。



挑んだ課題

多文化共生に向けた
定住外国人への支援

挑んだ課題

泉北ニュータウンの
再生

挑んだ課題

伝統の「藍」の
保存と活性化

挑んだ課題

交通手段を改善した
住みやすいまちづくり

STEP.1 グループワーク

SDGsおよび地域課題について学ぶ

定住外国人にとって住みやすいまちを
甲南大生5人と甲南高校生4人のチ
ーム「神戸NO1B(No One will be Left
Behind)」は、法学部の久保はるか教授の
支援のもと、地元神戸市を取り巻く環境
や外国人が多く暮らす地域性を考慮し、
「定住外国人が安心して暮らせるまち」に
ついて考えました。チーム全員で話し合
いを重ねた結果、留学や日本語の学習支
援ボランティアの経験がある高校生のア
イデアで、外国人児童の存在に注目し、教
育現場が抱える問題や支援の状況などを
調査することになりました。

神戸市

歴史ある住宅街を
再生するにはどうすればいいか
甲南大生5人と堺市立堺高校4人の
チーム「みみちゃんず」は、経営学部の渡邊
和俊教授と藤田順也准教授の支援のもと、
堺市の泉北ニュータウンに焦点を当ててま
した。西日本最大規模のニュータウンで約
50年を数える歴史ある住宅街ですが、初期
入居者の高齢化や都心回帰により、まち全
体の人口は減少の一途をたどっています。
そこで、若者の流出に歯止めをかけるべ
く、「泉北ニュータウンの再生」をテーマと
して課題解決に着手しました。

堺市

藍の伝統文化を
持続可能な産業にする
甲南大生4人と徳島市立高校生3名の
チーム「あい」は、マネジメント創造学部
の倉本宜史准教授の支援のもと、阿波踊りや
人形浄瑠璃などの多彩な伝統文化をもつ
徳島市において、特に伝統産業の一つであ
る「藍」に注目しました。人口減少や産業の
伸び悩みなどによって衰退する「藍」関連
産業の振興を図ることで、徳島市が抱える
少子高齢化や観光客の減少を食い止める
のではないかと考え、「藍」の特徴を知
ることからスタートしました。

徳島市

地元の高校生ですら感じる
交通の不便さ
甲南大生5人と和歌山市立和歌山高校
生3人のチーム「みかん」は、共通教育セン
ターの岡村こず恵特任准教授の支援のも
と、高校生らの意見を取り入れながら、和
歌山市が直面している課題について議論
しました。その中でも、特に交通の便に焦
点を当て、「2030年に誰もが利用しや
すい交通手段が確保できている」ことを目
標とし、まずは現状を把握するため、和歌
山市役所やコミュニティバス運営団体な
どに聞き取り調査を行うことにしました。

和歌山市



世界を変えるための17の目標

SDGs × 甲南大学

大学生と高校生が地域の課題解決にチャレンジ！



持続可能な開発目標 SDGsとは

「Sustainable Development Goals(エ
スディー・ジー・ズ)」の略称。2015年の国
連サミットで採択され、「誰一人取り残さ
ない」持続可能で多様性と包摂性のある
社会実現のため、2016年から2030
年までを期限とする国際目標です。「質
の高い教育をみんなに」「住み続けられ
るまちづくりを」など17のゴールと169
のターゲットで構成されています。

関西湾岸ネットワークとは

甲南大学と大阪湾を囲む神戸市、堺市、
和歌山市、徳島市が連携し、「海でつなが
る」をキーワードに、地域の発展と活性
化を図るネットワーク。高校生と大学生
が課題解決を考える「関西湾岸SDGs
チャレンジ」の実施をはじめ、さまざまな
地域連携活動に取り組んでいます。

大学での学びを実践 地域が学生の自主性や 気づきを育む場に

国連が掲げるSDGsは、私たち
の未来をより良くするために今から
取り組むべき目標を掲げています。
本学がめざす地域連携教育は、学生
が専門の学びをもとに地域に向き合
うことで、現場から問題を見つけ、実
践力を身につけ、その活動が地域の
課題解決や活性化にも資することを
めざしています。それはSDGsの
考え方と響き合います。
今回の「関西湾岸SDGsチャレン



地域連携センター所長
文学部 歴史文化学科
さとう やすひろ
佐藤 泰弘 教授

ジ」は、大学がメディア・自治体と連
携したこと、複数の自治体が一堂に
会したこと、大学生・高校生さらに自
治体職員や教員・記者という異なる
年代や経験をもつ人々が協力したこ
となど、他に例のない取り組みでし
た。参加した大学生・高校生は、未来
を担う世代として、SDGsを理念的
に学ぶだけでなく、具体的な地域
課題に即して現場に立つて考えてく
れました。その成果を紹介します。

甲南大学は、神戸市、堺市、和歌山市、徳島市の4市、各地域の高校生、自治
体と甲南大生が連携し、将来に向けての課題を掘り起こし、持続可能な課
題解決策を探る「関西湾岸SDGsチャレンジ」(主催・朝日新聞社メデ
ィアビジネス局、甲南大学)を昨年の8月から9月にかけて実施しました。



STEP.3 SDGsチャレンジアカデミー

STEP.2 フィールドワーク

4市の自治体へ向けてプレゼンテーション

現地でのインタビューや視察で情報収集

外国人の子どもたちが夢を描くことのできる社会へ

外国人の子どもたちがより暮らしやすく、自分の夢を追うことができる社会の実現をめざし、多様な教育現場に対応できる教員育成システムの構築や、進学率向上をサポートする学生ボランティア制度を提案。若者がボランティアに参加しやすいよう「国際音楽フェス」を開催するなど学生らしいアイデアも提案。この提案は、SDGsが掲げる国際（グローバル）目標と地域（ローカル）の課題を関連づけたことが評価され「グローバル賞」が贈られました。

神戸市

「緑道」を住民らの手で彩り コミュニティの活性化を

提案したのは、住民が自由にガーデニングを行い、「緑道」を花で囲むということ。花を選んだ理由は、幅広い世代が参加でき、四季折々で表情を変えるため、景観アップや魅力ある空間にできると考えたから。この提案は、今ある資源を生かし、住民が楽しんで参加できるプランであることが評価され、「エコまちづくり賞」が贈られました。また、本学独自の高大接続イベント「リサーチフェスタ」でポスター発表を行い、「学長賞」を受賞しました。

堺市

徳島にとって大切な藍を残していきたい

全員で知恵を絞り、「藍の企画展」や「藍染めの体験ツアー」を行い、藍を知ってもらうというアイデアを提案。さらに染料の仕込みができる本格的な体験の場を提供することで、化学染料との違いを理解でき、この「体験」を充実させることで、観光客増加や地域活性化につながり、藍の魅力も伝えられると考えました。この提案は、学生たちが伝統文化に直接に触れ、感じたことを生かした提案であることが評価され「温故知新賞」が贈られました。

徳島市

誰もが利用しやすく 快適な交通手段の提供を

まず、新たな移動手段として免許不要で乗れる「電動カート」の普及と共同利用を提案。コンビニエンスストアなどに設置することで、乗り捨ても可能とし、月額6千円程度の利用料を試算しました。さらにバス停の改修も検討し、高校生がデザインしたベンチの導入などユニークなアイデアも披露。この提案は、高齢化が進む和歌山市において、誰もが安心・安全に移動できる社会の実現につながることを評価され「ユニバーサルモビリティ賞」が贈られました。

和歌山市

「困り感」を抱きながら学ぶ 子どもたちの実態を知る

神戸市役所やNPO団体、インターナショナルスクールを取材すると、外国人の子どもが日本の学校で学ぶときに、言語や気候、文化の違いなどさまざまな壁に直面しながら生活していることが浮き彫りに。外国人の子どもが日々の生活で抱く「困り感」を肌で感じた学生たちは、SDGsの標語である「誰一人取り残さない」を強く意識し、教育現場での支援体制の充実と、多文化共生を理解した人材を育成していくことが重要であると考えました。

神戸市

ニュータウン再生のカギは 歩行者専用の「緑道」にある

堺市役所や市民活動団体への取材を通じてわかったことは、周辺に緑が多く、住民参加型の活動が定期的に行われ、まちづくりにつながっているということ。そこからヒントを得て、ニュータウン内に計24キロにわたってめぐらされている歩行者専用の「緑道」の存在に注目。駅や近隣などを結び散歩やハイキングも可能な「緑道」を、学生たちは真夏の日差しが照りつける中、実際に歩くなどして、ニュータウン再生の方法を探りました。

堺市

体験を通して 藍の魅力を実感する

藍を知ることの第一歩として、調査に訪れた企業で藍染めを体験し、さまざまな工程を経て、美しい色合いが出ることを知りました。調査を進めると、徳島市の「藍」は安価な化学染料とは異なり、有害物質を使わずに個性的な色合いが楽しめること、また、藍は意外にも栄養価が高くさまざまな食品に利用されていることがわかりました。一方で認知度が低く、藍の良さを伝える機会が少ないことや後継者不足などさまざまな課題が見えてきました。

徳島市

高齢者に第二の「足」を

和歌山市は各家庭の自動車保有台数が多い車社会のため、バスなどの公共交通機関の利用者が減少傾向にあります。また、自宅から最寄り駅までの平均距離が1.2キロと高齢者にとっては負担が大きく、バスのルートや時刻を知ることにも困難で不便であるとの声があがっているとのこと。そこで、主に高齢者を対象とした公共交通機関までのスムーズなアクセス方法について、採算の取れる実現可能性の高いプランを練ることにしました。

和歌山市

なるほど!

甲南

アカデミア

文学部 社会学科 教授

中里 英樹



今を変えるのは、働き方改革か？

ジェンダー意識の変革か？

男性が当たり前のように、

育児を担う社会はやってくるのでしょうか

と。父親にとっては所得の減少が障壁になると言われてきましたが、育児休業給付金は2014年の雇用保険法改正により、最初の6か月間は休業開始時賃金の67%に増額されました。非課税で社会保険料も免除されるため、手取り賃金額の80%程度受給できることになりました。

※雇用均等基本調査(厚生労働省実施)より

孤独と職場の雰囲気
が
男性の育児休業を阻む

「手厚い制度があるのに、なぜ日本の男性は育児休業を取らないのか」。多くの国の研究者から質問されました。1か月以上育児休業を取得した男性にインタビューしたところ、多かった声が孤独ということ。育児休業を取っている男性が他にほとんどいないので情報交換する相手がいない。ママ友の輪に入ろうとしてもスムーズにいかない。ブログやSNSで他の社会とのつながりを保っているという状況がほとんど。また、別の調査などからわかることとして、職場の雰囲気も取りづらい大きな要因の一つ。育児休業を取得することで、キャリアに傷がつくのではという心配の声もありました。

さらに、日本は待機児童対策など緊急措置的に育児休業制度を拡充してきているところもあるため、一見良い制度に思えても、俯瞰して見つめると不備が見受けられることが問題です。たとえば、2010年にドイツの制度を参考に「パパ・ママ育休プラス」をつくり、両親が育児休業を取得

すれば通常の1年から1年2か月まで期間を延ばせるようになりました。しかしそれ以前に、子どもが保育所に入れない場合は、1歳6か月まで延長できる制度があり、母親の育児休業を半年延ばすことが可能だったのです。現在はさらに2歳になるまで延長でき、父親が取る必然性は薄れてしまっわけです。そういった制度の不整合が見受けられます。

子育ての大変さを男性も
理解し夫婦で協力し合う

私は、ワーク・ライフ・バランスとは、単に労働時間を少なくするのではなく、仕事と生活のあり方について納得のいく状態をつくることだと考えています。現状、男性は家族のための時間が取りづらく、女性は子育てをメインの役割にされることで、思っ存分仕事ができません。大切なのは、夫婦間で相手がどういう状況にあり、何を望んでいるかを理解すること。たとえば、女性が子育てしている時間は、家でゆっくりできていると思っ込んでいる男性もいるわけです。しかし、子どもが小さい間は24時間トイレに行く間も目を離せない。育児休業を取った父親は、そのストレスや辛さを理解できます。

また彼らは、子どもとの距離感が近く、率直に言いたいことが言い合える。これは育児を通して、長い時間接してきたことで、信頼感が育まれ子どもとの関係に自信をもてるからかも知れません。

最近、夫が子育てを担うことが、妻の

世界に劣っていない
日本の育児休業制度

1998年に子どもが生まれたとき、もともとジェンダーと呼ばれる男性・女性の決められた役割に疑問をもっていたことから、できるだけ子育てにかかわろうと考えました。日中は大学で教えながら、帰宅後は夜中でも妻に代わり、子どもを寝かしつけるなどしていました。妻は周囲に知り合いもいなかったこともあり、孤独な育児で追い詰められている様子が見てとれ、ショックを受けました。また、同じころに子どもが生まれた友人たちを見ると、かなりの長時間労働で、子育てにかかわることがもっと難しい状態でした。そこで、どうして男性は育児に参加するのが難しいのか、どうすれば変わるのだろうかと思い、研究の軸足を「男性の子育てと働き方」に置くようになりました。

縁があつて育児休業の研究をする国際ネットワークに加わった際、男性の育児休業は世界でも注目されているテーマだと気づきました。多くの国が、男女平等の進展の指標として、男性がどれだけ育児休業を取得しているかという実態調査と推進

キャリアを高めるために必要だということとを理解してもらうため、女性社員の夫に参加してもらって意識改革の研修を行う企業も出てきています。もっとも、親になった人自身が男性が育児休業を取得できると思っていないことや、上司がそれを知らないことが多いのも事実です。SNSを検索すると「父親の育休」に関するアカウントや書き込みが格段に増えました。これらの情報に日常的に触れることによって、子育て中の父親やその周りの人々が下がり、育児休業を取得するハードルが下がるようになればと期待しています。

既成概念を打ち破り新しい
価値を創出できる人材に

最近、就職活動において、子育てや家庭のことに時間を確保しながら働けるこ

に取り組んでいます。

日本の男性の育児休業取得率は、2%台で推移していましたが、2016年に3.16%となり、2017年は5.14%と急上昇[※]。政府は2020年に取得率13%を目標としています。

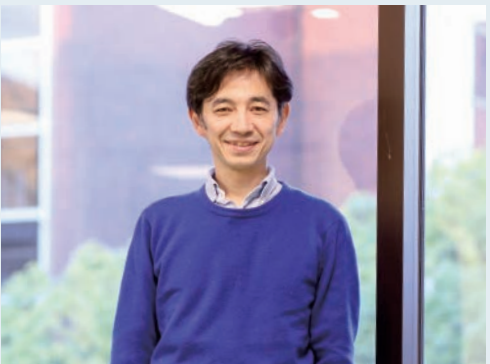
世界を例に見るとノルウェーでは、育児休業の一定期間を父親に割り当て、父親が育児休業を取らなければ、給付金などの権利が消滅してしまうパパ・クォータ制度を、1993年に導入しました。これにより、それまで父母のどちらが取得してもいいもの、実際に父親が取得するのはまれであつた育児休業を、数年後には7割、さらに後には9割ほどの父親が取得するようになりました。

同様にドイツでは2006年ころまで、男性の育児休業取得率は3%程度でしたが、父親が取得することで休業期間が2か月増える制度に改正したことで取得率は30%を超え、平均して3か月程度取っています。やはり世界においても、程度の差こそあれ育児休業は母親が取るものという通念があるようですが、父親が取らないと「損をする」、あるいは取ると「得をする」制度に改正し、実態が変わってきています。

世界の国々と比較する中で見えてきたのは、日本の制度は実は手厚いというこ

とを基準に、会社を探す学生が増えています。私も講義において、そのような会社で働くことができれば、将来の選択肢が広がるであろうと話しています。

文学部社会学科では、社会を読み解く実践的な調査法が学べます。私のゼミは、子育て、結婚、キャリアに関して研究する学生が多いのですが、これまでの研究を調べて終わりではなく、自分なりにこれまでにないデータを収集・分析し、新しい視点を付け加えることを大切にしたいと伝えていきます。既成概念に固執しては、より良い社会の実現は困難です。予期しなかつた調査結果や現実などとも、柔軟に向き合うことによって、新しい価値を発見しつつ人生を切り開いていける人になってほしいと願っています。



文学部 社会学科

なかざと ひでき

中里 英樹 教授

京都大学文学部卒業。京都大学文学研究科社会学専攻博士課程 単位取得満期退学。2002年から甲南大学へ。専門は家族社会学。育児休業に関する国際研究ネットワークでは、育児休業を取得した父親の国際比較プロジェクトに参加。芦屋市男女共同参画推進審議会委員などを務める。現在、「父親の育児休業をめぐる文化・実践・政策の相互作用の比較社会学的研究」が科学研究費助成事業に採択されている。

話題作『カメラを止めるな!』への出演

作品の熱い思いを 直接観客へ届ける 注目の俳優

社会現象まで巻き起こした大ヒット映画『カメラを止めるな!』。監督&俳優養成スクール「ENBUゼミナール」のメンバーによる製作費300万円の作品は、地道な宣伝活動とSNSの口コミによって人気を集め、2017年11月の先行公開から1年後には興行収入30億円を突破しました。さらに国内外の映画賞を次々と受賞する快進撃が続いています。この映画に出演しているのが俳優の曾我真臣さん。「甲南大学に映画研究部があったから、映画俳優になった」と言う曾我さんに、話題作出演の舞台裏やこれまでの俳優人生について伺いました。

PROFILE

そが まさおみ
映画俳優 曾我 真臣 さん

甲南高等学校・中学校から甲南大学法学部に進む。卒業後大阪で会社員生活を経験した後、東京に移りフリーの映画俳優として活動を開始。2017年公開の『カメラを止めるな!』に出演。映像制作も手がけ『パンとイースト菌』(2016年)は「MEC Award 2017」で佳作賞を受賞。

撮影2日前に仲間から要請
「エキストラで出てほしい」

『カメラを止めるな!』のストーリーは、シンプルだ。山奥でゾンビ映画を撮影している映画の撮影隊に、本物のゾンビが襲いかかってくる。それを喜び勇んで撮影する監督と、次々にゾンビ化する撮影隊……。しかし脚本は斬新で、展開も度肝を抜いている。

気鋭の監督と無名俳優たちによるワークショップから生まれたインディーズ映画は、6日間限定のイベント公開だった。しかし上田慎一郎監督やプロデューサーによる宣伝活動が実を結び、半年後の2018年6月に東京都内の映画館2館で公開を開始し、あっという間に全国で公開される大ヒット作品になった。「5回以上観た」「10回は観た」と豪語するファンには「カメ止め」として愛されている。

曾我さんはテレビ局員役。スタジオで女性プロデューサーと映像を見ながら「リアルっすね」とクールにつぶやく。絶叫が続く映像とは正反対の温度感が作品を引き締める。

「ほかのキャストと違って、僕はオーディションで選ばれたわけではないんです。撮影2日前にキャストの仲間から『エキストラで出てくれ』と頼まれて、急ぎょ出演が決まりました」



ファンが描いたイラストが映画館とのコラボグッズとして使われた

た。しかし、上田監督の作品に出演した経験があったことから「せっかく曾我さんが来てくれるのなら、セリフのある役で」と監督に言われた。曾我さんの力量がうかがえるエピソードだ。

作り手の映画愛と作品の軸が
リンクしてヒットしたと思う

台本を読んだのも撮影2日前。「監督にアイデアは聞かされていたものの、台本を読んだ『この人の頭の中はどうなっているんだ』と驚きました。監督の経験や映画愛がすべて詰め込まれていると感じました」とはいえ、ヒットの予感はずいぶん違ったという。撮影では「メインキャストの邪魔にならないように」脇役の鉄則を守った。

ところが映画公開後、曾我さんは別の形で注目を集めるようになる。舞台挨拶のため139日間、休まず劇場に通ったのだ。「監督に言われました。撮影と編集で1本の映画はできるが、『カメラを止めるな!』はそれで終わっていない。完成後の宣伝も含めての作品だ、と」

舞台挨拶に出続けたのはなぜか。「一人でも多くの人に見てもらい、感謝の気持ちを伝えたかった。そんな僕たちの想いが作品の軸である映画愛とリンクして、みんなに届いたのだと思います」。作品の肝である37分のワンカットのシーンを撮るために、製作陣と出演者は何度も稽古を重ね、緻密な準備をしたという。「製作費300万円と言われているが、決してそれだけで作られた作品ではありません」。

甲南に入学したことで
映画俳優人生が始まった

映画で活躍中の曾我さんだが、演技の世界

に入ったのは舞台からだ。宝塚歌劇のファンだったお母さんに連れられ、2歳10か月で児童劇団に入った筋金入り。小学4年生で歌舞伎の舞台に1か月間出演し、演じる面白さを知った。「目の前のお客さんの反応が面白くて、子どもながらにいいものを見せたいと思ひました。将来この世界に進むんだとも思いました」。

ところが中学校受験で演技の世界から離れると、甲南中学校入学後はバスケットボール一筋の生活になった。高校一年生で腰を痛め、バスケットボールをあきらめざるを得なくなったときに失意の曾我少年を慰めたのが映画だった。「家に引きこもって、映画ばかり観ていました」。

甲南大学に入学すると、止まっていた時計の針が動き出す。映画研究部の部員勧誘のチラシがきっかけだった。「映画を作って上映しています」と書いてあって、「ここでやらないと、いつやるんや」と奮い立ちました。部室の前まで行つては引き返すを2か月間続けた後ようやく開けた部室の扉。演じる面白さを感じ出し、映画を作る楽しさにも出合うことができた。

映画俳優になりたい、という気持ちは高まっていったが、両親からは猛反対を受けた。「まず働いているところを見せる」と約束を取りつけ、卒業後はいったん会社員生活を送



何日も連続して舞台挨拶をこなした

ることに。そして4年後、貯めたお金を手に東京へ飛び出した。

映画研究部の
復活へ向けて

東京での仕事はまったくなかった。芸能事務所に所属しようにも20代半ばという年齢が壁になり、どこも受け入れてくれない。事務所にプロフィールをもって飛び込み営業をしたり、オーディションも受け続けた。自主映画の出演募集にも応募したが、書類で落とされる絶望の日々。「あまりに辛くて思い悩んで、夜中に飛び起きることが何度もありました」。

それでもあきらめなかったのは、なぜか。「辛抱して会社員生活を送って東京に出てきて、何の成果のないまま帰れない、あの生活には戻れないと思いました」。夢を超えた執念のようなものがあつたのだらう。「できることはすべてやろうと、がむしゃらに動いているうちに、徐々にオーディションに受かるようになってきたんです」。時計の針がまた動き始めた。磨いてきた表現力やクリエイターから寄せられる信頼が着実に形に表れてきたのだ。「カメ止め」の出演は、その延長線上にある。

曾我さんは脇役が好きだという。自由に演じられる面白さがあるから。これからもきらりと光る脇役で、映画を楽しませてくれるだろう。実は、今年1月に10年以上上座部状態だった映画研究部が映画同好会として復活を果たした。大学でのトークイベント出演をきっかけに、再スタートをきった会を卒業生と現役生とで盛り上げようとしている。この復活劇で曾我さんが、どんな役を果たしてくれるのかも楽しみだ。



【FITキャンパスツアー】

【NASA・ケネディ宇宙センター見学】



【FITの学食でランチ】

【FIT内ELSにて英語レッスン】

【FIT海洋生物学研究室見学】

【ウミガメ保護協会見学】

【FIT天文台での天体観測】



【バリアー島 サンクチュアリフィールドワーク】

【モデルロケット製作と発射実験】

【NASA・ケネディ宇宙センター見学】

【大西洋で記念写真】

Schedule ～スケジュール～

1st day

7.29 [Sun]
・到着

2nd day

7.30 [Mon]
・フロリダ工科大学(FIT)
キャンパスツアー

3rd day

7.31 [Tue]
・FIT海洋生物学研究室見学
・ウミガメ保護協会見学

4th day

8.1 [Wed]
・NASA・ケネディ
宇宙センター見学
・宇宙飛行士と昼食

5th day

8.2 [Thu]
・FITにて英語レッスン
・FIT教員による講義と実験・観測
・モデルロケット製作と発射実験
・オルテガ天体望遠鏡観測

6th day

8.3 [Fri]
・バリアー島 サンクチュアリ
フィールドワーク

7th day

8.4 [Sat]
・帰国の途へ

8th day

8.5 [Sun]
・到着



Report /

アメリカ NASA・FIT サイエンスツアー 2018

甲南高等学校では、フロントランナー・コースの高二と高一の希望者を対象に理系中心の研修プログラムを実施。アメリカのフロリダ工科大学(FIT)内の寮に滞在し、午前にはFIT内の語学学校(ELS)で英会話や理系英語を中心に英語力アップに努めました。午後は、日替わりで多様なプログラムを体験。FITキャンパスツアーやモデルロケット製作・発射実験、バリアー島サンクチュアリでのフィールドワークなど多くの貴重な体験をしました。また、NASAのケネディ宇宙センターも訪れ、スペースシャトルの実機や、実際に運用されているロケット組立工場や発射台に、生徒たちは、時が経つのも忘れて見入っている様子が印象的でした。

Comment ～体験生徒の声～

FITで見学した実験は、高校で体験したことのあるものだけど、レベルが高いくつもの分野の掛け合わせしているのだと感じ、大学の研究に興味を湧いた。

ケネディ宇宙センターでの、宇宙飛行士を囲む食事会では、たくさん話が聞けて有意義だった。

英語のレッスンでは、大気汚染についてグループワークし、解決につながる意見を見だし、ポスターにまとめ発表。英語での発表はスムーズにいかず、未熟な英語力を痛感しました。

英語の授業は、ディスカッション形式で積極的な発言が求められた。最初は先生が話す英語をなかなか理解できなかったけど、徐々にリスニング力がアップするのを実感しました。

将来の進路選択に影響を与える
アメリカでの貴重な体験

Keep going and going!

その思いが絆となり、花園まで一歩前進!

全国高校ラグビーフットボール大会出場を懸けた兵庫県予選大会では、前シーズンのベスト8からベスト3へと大躍進! 花園まであと一歩と迫った、甲南高等学校ラグビー部。その快進撃を牽引した三年生とクラブ監督の南屋大教諭に、その軌跡を伺いました。



TOP!CS

高校ラグビー部



『Keep going and going』としました」と語る主将の渡辺くん。前進し続ける、その思いがかたちとなった今大会。その礎は、新体制づくりから始まっていると言います。

まず、土日のサポートコーチに卒業生の衣川太貴氏(H24高卒)を迎え、全員体重5kg増を目標としたウェイトトレーニングとランニングでフィジカルアップ。さらに、本校体育担当の増田講師が平日指導に加わったことで、春大会、兵庫県民体育大会ではベスト8に。夏休みにはスーパーラグビー「クルセイダーズ」専属スタッフ榎塚安武氏の指導によりセットプレー技術を高め、準決勝へ。順調に仕上がってきたかのようです。

副将の田中くんと合わせて2人しかいない三年生バックスの押田くんを怪我により欠いたことは、仲間として精神的にも大きな



- 1 ラグビー部監督/南屋 大(みなみや だい) 教諭
- 2 主将/三年B組 渡辺 龍(わたなべ りゅう) 福井国体出場
- 3 副将/三年A組 田中 大世(たなか たいせい) 福井国体出場
- 4 三年C組 押田 拓大(おしだ たくと)
- 5 三年B組 滝野 晋悟(たきの しんご)
- 6 三年A組 馬場 康平(ばば こうへい)
- 7 三年C組 松田 竜昇(まつだ りゅうしょう)
- 8 三年D組 古川 翔太(ふるかわ しょうた)

な痛手になったと言います。「独りで後輩たちをまとめる難しさを痛感しました。彼らと同じ立場に立ち、コミュニケーションを取ることに力を入れ続けました」と田中くん。「この怪我を乗り越えたおかげで、人に感謝できるようになりました」と、大怪我から復帰し、花園予選に出場した押田くんにとって、大きく成長できた1年間だったようです。

創立者 平生 三郎が「One for all, All for one」の精神に共感し、旧制高校開校とほぼ同時期に設立されたラグビー部。「平生スピリットを受け継ぐ伝統あるクラブとして、戦績以上の功績を残しました。スポーツ推薦もなく強豪校の半分にも満たない部員数ですが、自分たちの意思でラグビーと向き合うことで、人間的にも成長を果たしました」と南屋教諭。逆境に打ち勝ち、乗り越える力を身につけた7人が、卒業後、どのように社会に躍動していくのか。次代の姿を楽しみにするとともに、次なるボールを託された新チームの躍進に期待します。



2018年の春、新三年生となったのは7名。「下級生よりも少人数で、どのようにチームの舵取りをすれば良いのか迷いました。でも一緒に乗り越えていこう!と、新チームのモットーを



ビジネス・リーダー養成プログラム 10周年記念式典の開催

11月10日、開設されて10年目を迎える「ビジネス・リーダー養成プログラム(BLプログラム)」の記念式典が行われました。「ビジネス・リーダー養成プログラム(BLプログラム)」は、経営学部が開発した、学生が自主的に学習に取り組む独自の教育プログラムで、3か月間のフルタイムのインターンシップを行う「ビジネス・プロフェッション・コース(BPコース)」をはじめ、国際ビジネス指向の「グローバル・ビジネス・コース(GBコース)」、ビジネス・アカウンタント指向の「アカウンティング・プラクティス・コース(APコース)」の3つのコースを設置しています。これまでに同プログラムを修了した経営学部生は、BPコース106名、GBコースは44名、そしてAPコースは50名に上りますが、その卒業生たちや、これまでご協力いただいた企業のみなさまを迎え、10周年記念式典を開催しました。



第2回リサーチフェスタを開催

12月23日、高校生と甲南大生・大学院生が、文系・理系問わず自由なテーマで自分たちの研究・探究活動をポスター形式で発表する「リサーチフェスタ」を開催しました。当日は、高校生や大学生ら総勢750名が参加し、192件のポスター発表が行われました。参加者は昨年の約2倍となり、熱気に包まれた会場では、普段は接点の少ない高校生と大学生らがイベントを通じて交流を深め、新たな学びの場となりました。



学園創立100周年記念平生国際科学シンポジウムを開催

● KONAN RESEARCH SUMMIT

100周年を記念し、12月4日から6日、ポートアイランドキャンパスにて「KONAN RESEARCH SUMMIT」を開催しました。世界トップレベルの大学・研究機関に所属する研究者を海外7か国より招聘し、核酸化学およびケミカルバイオロジーに関する研究成果について講演を行いました。また、招待講演者に対して学部・大学院生がポスター発表を行い、優秀な発表を行った学生を表彰するなど、盛会なシンポジウムとなりました。



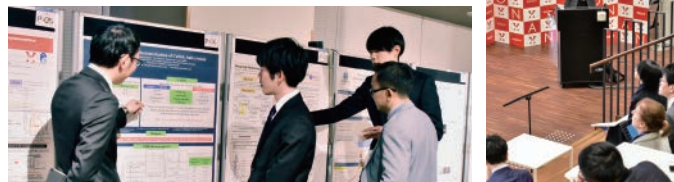
漫才ロボット「あいちゃんとゴン太」が「M-1グランプリ2018」に出場

知能情報学部で開発されている漫才ロボット「あいちゃんとゴン太」が、9月20日に大丸心斎橋劇場で開催された「M-1グランプリ2018」の1回戦に出場しました。M-1用に変更したプログラムを用いて、最新のニュースから自動生成した漫才台本で挑みましたが、結果は、残念ながら1回戦敗退。今後もさらに上をめざして、挑戦を続けていきます！



● International Symposium on Solar Energy Materials

続いて、1月25日・26日、岡本キャンパスにて「International Symposium on Solar Energy Materials」を開催しました。塗布型太陽電池および光触媒水素製造の新素材研究における世界トップレベルの研究者による基調講演や、太陽エネルギーを利用する発電の研究に関する招待講演が行われ、約70名が参加しました。大学院生によるポスター発表では、太陽エネルギー分野で活躍する研究者と活発な交流が行われ、盛会なシンポジウムとなりました。



姫路市と包括連携協定を締結

12月19日、甲南大学は姫路市と包括連携協定を締結いたしました。姫路市からは600名を超える学生が本学に通っており、これまでも、姫路のまちへの思いや将来像について語り合うタウンミーティング「ひめじ創生カフェ」への協力をはじめ、研究や学生活動などで連携を行ってきました。このたびの締結を機に、姫路市の魅力創出や発信、地域振興や課題の解決、スポーツ、文化振興など、さらに幅広い分野で連携を深めてまいります。



姫路市 石見 利勝市長(左)
長坂 悦敬学長(右)

徳島市と包括連携協定を締結

10月24日、甲南大学は徳島市と包括連携協定を締結いたしました。同日には、堺市・和歌山市にも参加いただきシンポジウムを開催。遠藤市長による講演も行われました。徳島市には昨年8月から9月に開催の「関西湾岸SDGsチャレンジ」に参加いただくなど、本学が地方自治体と協働する活動にご協力いただいております。このたびの締結を機に、徳島市の魅力創出や発信、スポーツ、文化振興などさらに幅広い分野で連携を深めてまいります。



徳島市 遠藤 彰良市長(左)
甲南大学 長坂 悦敬学長(右)



● 京都府



長坂 悦敬学長(左から2番目)

● 香川県



香川県 浜田 恵造知事(左)
長坂 悦敬学長(右)

ロシア科学アカデミーシベリア支部と 学術交流協定を締結

12月3日、甲南大学とロシア科学アカデミーシベリア支部との間で学術交流協定締結に係る調印式を執り行いました。ロシア科学アカデミーシベリア支部は、DNA(デオキシリボ核酸)やRNA(リボ核酸)などを対象にする核酸化学の分野で世界有数の技術をもつロシアの国立研究機関。この度の学術交流によって、共同研究を進展させ、副作用が少ないとされる核酸医薬の創薬などにつなげることを視野に入れています。

甲南大学先端生命工学研究所(FIBER)とロシア科学アカデミーシベリア支部は、以前から共同研究を進めていますが、学術交流協定によって、さらに広範囲かつ多角的な研究テーマの設定が可能となります。また、両研究所間における研究者の交流を大学全体に還元し、より国際的な教育研究環境を創出することも期待されます。



調印に臨んだドミトリー・ステツェンコ研究室長(左)
長坂悦敬学長(中)、杉本直己研究所長(右)



SNSで甲南大学の最新情報を発信中です



甲南大学公式Twitterアカウント

@konandaigaku

受験生に向けて本学の魅力や
イベント情報をつぶやきます。



甲南大学公式Instagramアカウント

@konandaigaku

さまざまな視点から
#甲南boy #甲南girlをご紹介します。



甲南大学公式LINEアカウント

@konan_ch

入試やイベント、大学のニュースを配信します。

● 甲南大学受験生向け情報サイト 甲南Ch.



<http://ch.konan-u.ac.jp/>

受験生が気になる情報を、
日々アップデートしています。

● 甲南大学オープンキャンパス 2019

全日程とも3キャンパス(岡本・西宮・ポートアイランド)同時開催いたします。

夏期オープンキャンパス

7月 14日 日 / 8月 4日 日 ▶10:00~16:00

秋期オープンキャンパス

10月 6日 日 ▶12:00~16:00

「オール甲南の集い」2018 盛大に開催

10月21日、秋晴れの空のもと、岡本キャンパスのiCommons(アイコモンズ)を会場に「オール甲南の集い」が開かれ、約1150名の来場でにぎわいました。

当日は「全国甲南会」を皮切りに、重要無形文化財保持者 能楽小鼓方大倉流十六世宗家の大倉源次郎氏(S56文卒)による囃子公演や、サントリーホールディングス(株)代表取締役副会長鳥井信吾氏(S50理卒)による講演「ウスキーと私」と試飲会など、ご来場の方々は、オール甲南ならではの稀少なプログラムを堪能された様子。

また、宝塚歌劇団OGを迎えた「スペシャルレビュー」では、「ベルサイユのばら」など人気演目で宝塚大劇場さながらに客席が沸き上がり、プログラム最後の全体交流会では、皆さま旧交を温められました。(甲南大学同窓会ホームページより抜粋)



第2回キッズフェスティバルを開催

11月18日、岡本キャンパスにて「甲南大学キッズフェスティバル」を開催し、約1500人の方にご来場いただきました。『「あそび」を「まなび」に! iCommonsで一日大学生!』をテーマに、色水実験、和菓子作り、鉄道模型の運転といった子ども向け体験プログラムのほか、大学教授による親子参加型講座などさまざまなプログラムが行われました。参加者にはキッズ学生証のほか、卒業証書が授与されるなど、大学らしい演出も楽しんでいただき、終始大盛況のイベントとなりました。



第54回摂津祭を開催

11月2日から3日間の日程で、第54回摂津祭が岡本キャンパスで開催されました。平成最後となる摂津祭は「SKY3days 平成公演・千秋楽」と題され、多数の来場者でにぎわいました。毎年話題の「ミス甲南」に加え、今回から開催された「ミスター甲南」コンテストをはじめ、クラブの展示やパフォーマンス、地域の子ども向けイベントの「テーマパーク」などによって、来場いただいた方々にお楽しみいただきました。



次号予告

次号は100周年特集! 音楽祭と記念式典・祝賀会の模様をお届けします



9月末発行予定の『KONAN TODAY No.56』の特集では、4月10日(水)に兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホールで開催する音楽祭と、創立記念日である4月21日(日)に神戸ポートピアホテルで開催する記念式典・祝賀会の模様を掲載予定。

※音楽祭への参加申込は終了しております。
当日の入場はチケットをお持ちの方のみとさせていただきます。

日本学生氷上競技選手権大会フィギュアスケート女子で三原舞依さんが学生チャンピオンに

1月4~7日、栃木県 日光霧降アイスアリーナで行われた「第91回日本学生氷上競技選手権大会」フィギュア部門において、初日のショートプログラムでトップに立った三原舞依さん(営1)は、フリーでも貫禄の演技を披露し、大会初出場ながら見事優勝し、学生チャンピオンに輝きました。インカレでの優勝は本学体育会フィギュアスケート部創部以来、初の快挙です。

三原舞依さんのコメント「初めてインカレに出場させていただくことができ、とても良い経験になりました。甲南大学の一員として少しでも貢献できていれうれしく思います」。



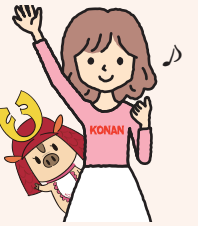
学生2人が日本一の快挙 体育会 少林寺拳法部 富永さん 和太鼓同好会 甲(きのえ) 野田さん

富永沙紀さん(文4)が、第52回少林寺拳法全日本学生大会(立合評価法女子中量級の部)において、また、野田浩佑さん(法4)は、太鼓祭第10回日本一決定戦(大太鼓の部)に挑み、それぞれ見事日本一の栄冠に輝きました。2人とも学生として挑む最後の大会で有終の美を飾りました。



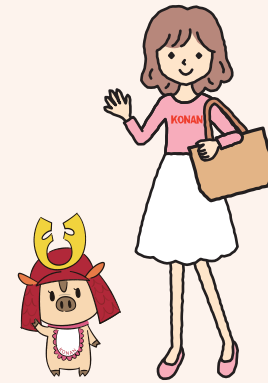
岡本ぶらり 第5回

私たちが紹介します
ナビゲーター/
もっとさん と なんぼーくん
「岡本」のまちをもっともっと知りたい!
好奇心旺盛な女の子と、ご存知甲南
の公式キャラクター。



「岡本」駅から、「摂津本山」駅から 通学路のあの店、あの味

今回は通学路の人気店を訪ねます。老舗が多い岡本には、古くから甲南大生を楽しませてくれたお店がたくさん。なつかしいあの味に、思い出が多い卒業生もいらっしゃることでしょう! また、おしゃれな岡本ならではの新しいお店も取り上げました。お出かけしやすい日和になったこのごろ、なつかしい通学路の味を訪ねられてはいかがでしょうか。



8枚重ねが
人気です



4 ベル・ヴィル 阪急岡本駅店

秋にオープンしたでの大人気のパンケーキカフェ。自慢のパンケーキは、メレンゲを独自配合した生地で注文を受けてから焼き上げるそう。「映え」スポットとして甲南大生からも注目を集めています。

【営業時間】平日: 午前10時～午後8時 土日祝: 午前8時～午後8時
【TEL】078-412-7373 【ホームページ】<http://belle-ville.net/>
【住所】神戸市東灘区岡本5-1-1



3 観光堂 岡本店

JR摂津本山駅の近くに古くから看板をあげる和菓子屋さん。しょう油味のおかきを甘いせんべいで巻いた「おかき巻」は、和と洋を見事にコラボレーション! なつかしい味がするシンプルな甘いせんべい「甲子園」も人気です。

【営業時間】午前9時～午後7時
【TEL】078-431-3131
【住所】神戸市東灘区岡本1-4-5

お一人様も
多いお店

5 珈琲 春秋 Kobe 岡本本店

岡本商店街の一角にたたずむコーヒーショップ。2階はミーティングも可能なスペースで、利用された人もいいるのでは。ドリップコーヒーはどれも本格的でおいしいのですが、「焼きカレードリア」などフードメニューも根強い人気のお店です。

【営業時間】午前7時～午後11時
【TEL】078-451-5911
【ホームページ】<http://www.syunju.com/>
【住所】神戸市東灘区岡本1-6-12 有本ビル



通学路の
ランドマーク



1 フロイン堂

1932(昭和7)年、神戸の老舗ベーカリー「フロインドリーブ」の支店として創業し、終戦後に今の看板を掲げた老舗のフロイン堂さん。往年の卒業生もなつかしいお店の一つでしょう。岡本駅を利用する学生の通学路を、今も焼き立てパンのいい香りで飾っています。

【営業時間】午前9時～午後7時 【定休日】日曜日・祝日
【TEL】078-411-6686
【住所】神戸市東灘区岡本1-11-23

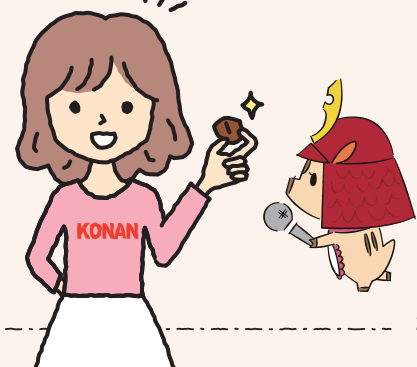
2 チョコレートハウス モンロワール

小さな巾着状の包装紙に包まれた葉っぱの形のチョコ「リーフメモリー」が定番人気のモンロワールさん。百貨店にも出店する人気店ですが、ここ岡本が本店です。ショーケースには、色とりどりさまざまな形をしたチョコレートが、宝石店のように並べられ、ついついウットリ見入ってしまいますね。

【営業時間】午前10時～午後7時
【TEL】0120-232-747 (お問い合わせ専用ダイヤル)
【ホームページ】<https://www.monloire.co.jp>
【住所】神戸市東灘区岡本1-11-20



小さくてかわいい
リーフメモリー





平生 鈆三郎が目撃した 二・二六事件



二・二六事件原隊に復帰する反乱軍(1936年2月撮影)

2月26日早朝の東京駅

人生には不思議な巡り合わせがあるものである。昭和10(1935)年の平生 鈆三郎は、4月から10月まで訪伯経済使節団の団長として大役を果たし、12月初めには貴族院勅撰議員に推挙され、続いて天皇陛下に「ブラジルの国状について」ご進講を行うなど、超多忙な日々を追われた。さすがの彼も70歳の高齢には勝てず、川崎造船所も彼を会長にしてねざらったが、暮れから体調を崩して入院する。やっと快復して三女一家が暮らしているハワイで休養しようと思ひ立ち、くしくも昭和11年2月26日の早朝に東京駅に降り立った。

小石川の自宅に向かって皇居方面の大通りに入ろうとした刹那、銃剣付き小銃で武装した兵卒が検問しているのに出くわした。平生はその時は「何か不穏の事が生じたため宮城守護のためかかる嚴重な警護」をしているのだらう、とさほど気にも留めなかったが、自宅に着いて間もなく、川崎造船所専務の川崎芳熊が東京出張所から衝撃のニュースを伝えてきた。今朝5時麻布三連隊(第一師団)の大部分と第一連隊の一部一千五百人弱が4人の大尉に指揮されて、岡田首相・松尾伝蔵大佐が身代り、高橋蔵相、渡邊錠太郎陸軍教育總監、斎藤実内大臣を襲撃し、四大臣は即死し、尚鈴木貫太郎侍従長は重傷を負ったと。

天皇機関説批判とファシズム論

こうした惨劇がいつ起こっても不思議ではない不穏な空気が軍部の一部や民間右翼の間に漂っていた。昭和7年2月には元日銀総裁で平生とも親しかった民政党幹事

ことが主因であった。

青年将校に牛耳られる陸軍上層部

好奇心が人一倍強い平生はハワイ行きを急きょキャンセルし、事の成り行きを自分の目で確かめる決心をする。平生がまず感じたことは、中隊長指揮下にある一千人あまりの士卒を鎮圧することが出来ない陸軍部内の上官たちを全く理解できない。側聞するところによれば、反乱に加わっていない兵士を鎮圧に向かわせると、「彼等が鉦を逆にして暴行兵士と合体するの恐れ」があるので手が出せないとのことだが、さすがにこれには平生は開いた口が塞がらない。

常に自分たちがこそが国家の盾とか、陛下の守護者とか、忠君愛国の結晶であると自負している将校が、天皇陛下の信任を受けた重臣を惨殺しただけではなく、警視庁など政府の要所を占領するというのは、実に不忠義の悪漢であらざれば狂人の仕業というほかない。この青年将校たちを鎮圧できない上官たちに指揮される軍隊を国民が信頼しなくなるのは当然で、「対外的に国威を失墜」することも目に見えている。ここでもし満州、シベリアでソ連と戦火を交えることになれば、日本は極めて危険な状況に直面することになる。事実平生の予言どおり、昭和14年5月にノモンハン事件が発生し、日本軍は多大な痛手を被ることになる。

富豪の「セイフティ・オンリー」と庶民の「狡知」

この事件で政治の中枢が崩壊したが、経済を牛耳っていた財閥や富豪も戦々恐々としていた。政党と結託して社会を腐敗させている張本人こそ彼らであり、殲滅すべ

き対象だと見なされていたからである。くしくも事件の10日前、平生は三井合名の重役らを前に、今や「右翼的ファシズム思想は頓に勃興し、殊にこの思想は軍部内に燎原の火の如く伝播し、政党と財閥とは此等のファシストの排撃の標的」となっていると語っていたが、二・二六事件が勃発するや、東京の財閥・富豪は取るものもとりあえず直ちに東京を離れた。東京海上火災会長で、同時に三菱財閥を代表していた各務鎌吉はテロを恐れて京都に身を隠した。

東京川崎財閥の川崎銀行頭取川崎肇は熱海に身を潜めていたが、平生は東京から熱海の別荘へ向かう列車のなかで彼と偶然に出くわす。彼は平生にも隠れ家を言えないほどおびえていた。そこで平生はあえて「東京に於ける資本家はセイフティ・ファーストなれば、何処にか隠遁するに如かず」と述べると、彼は「東京に於ける彼等の境涯は実に危険なり」と応えている。

戒厳令を敷かれても意外と冷静であったのは東京市民であった。それどころか、反乱軍をあざ笑うかのように、この事件でひと儲けをしようとする者すらいた。平生は一般人の通行禁止区域に堂々と「〇〇病院患者運搬用」と張り紙がしてあるタクシーが止まっているのを見つけたが、これは警備の兵卒や巡査を欺いて、禁止区域に出入りして客を拾うための単なる口実で、これには平生もその「狡知」に驚く。東京市民がこのようであれば、まして「大阪市民は何等周章の様なく、至極沈着に東京より来れる諸報告に接し居り、見上げた」ものだと伊藤忠兵衛も平生に語っている。

広田弘毅内閣の誕生

クーデターが未遂に終わると、平生は後

『平生 鈆三郎日記』

最終巻第十八巻を刊行しました。



『平生 鈆三郎日記』は、2月に最終巻である第十八巻を刊行いたしました。定価は各巻20,000円(税抜)ですが、甲南学園関係者の方(卒業生、在学生、ご父母、教職員等)は10,000円(税抜)でご購入いただけます。

ご注文・ご購入に関するお問い合わせ

TSUTAYA BOOKSTORE Tel.078-441-7901
甲南大学 学友会館 Fax.078-441-7915



Dreams of Serendipity
中村 耕二
[名誉教授] 著
Melrose Books
€9.99



ドルと紙幣のアメリカ文学
貨幣制度と物語の共振
秋元 孝文
[文学部教授] 著
彩流社
¥2,700(税別)



イギリス文学を旅する60章
平賀 三郎
[S36済卒] 他著
明石書店
¥2,000(税別)

新刊一覧

甲南学園の教員・教諭と卒業生が執筆した



精神分析が生まれるところ
間主観性理論が導く出会いの原点
富樫 公一
[文学部教授] 著
岩崎学術出版社
¥3,200(税別)



見えない俳優 人間存在の神秘を探る旅
筈田 ヨシ
[S28高卒] 著
五柳叢書
¥2,000(税別)



自衛官という生き方
廣幅 賢一
[S62法卒] 著
イースト・プレス
¥840(税別)



無子高齢化
出生数ゼロの恐怖
前田 正子
[マネジメント
創造学部教授] 著
岩波書店
¥1,700(税別)



ジェット・セックス スチュワーデスの歴史とアメリカ的「女性らしさ」の形成
浜本 隆三
[文学部講師] 訳
明石書店
¥3,200(税別)



日本のアール・ブリュット もうひとつの眼差し
服部 正
[文学部准教授] 他著
国書刊行会
¥3,500(税別)



昭和のお店屋さん
藤川 智子
[S60文卒] 作
ほるぷ出版
¥1,600(税別)

編集後記

かねてより告知をしておりましたが、来たる4月21日にいよいよ学園創立100周年を迎えます。この節目を読者のみなさんと一緒に迎えられること、本当にうれしく思います。今回は特別編集号として、理事長・学長・校長にそれぞれお話を伺い、新たな100年に向けての思いを語っていただきました。

また、昨年11月29日付読売新聞朝刊に30段のカラー広告を出稿し、紙面では7〜8ページのように多くの学生さんにご登場いただきました。今回は広告に掲載できなかった方をはじめ、スペースが許す限り掲載しました。恥ずかしがりながらもカメラを向けると、はじける笑顔で協力してくれた学生のみなさん、この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

100周年記念企画として、53号より開始した「タイムトリップ Memories」も次号で最終となります。ぜひお楽しみに。

甲南高等学校・中学校 大同窓会

ありがとう甲南100年分の想いそして…

詳細が決まり次第、封書/甲南高等学校同窓会ホームページ (<https://www.konan-alumni.jp/>) 等でご連絡いたします。甲南高等学校・中学校のOBの方はぜひご参加ください！

2019年

場所

5月25日(土)

神戸ポートピアホテル
「大輪田の間」

第1部 同窓会総会 16:00〜

第2部 大同窓会 17:00〜

オープニング: 同窓生音楽師による特別上演

PRESENT

オリジナル
ステンレス サーモタンブラー

ご希望の方は、
同封のアンケートハガキでご応募ください。

応募締切: 2019年5月31日到着分まで

KONANロゴ入り
容量/420ml



KONAN TODAY 55
2019 Spring NO.

発行日/2019年3月27日
発行/甲南学園広報部 〒658-8501
神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL.(078)431-4341(代)



Konan Athlete

課外活動成果報告

(敬称略)

みなさんの活躍に
心より拍手を送ります。

掲載期間 2018年6月〜12月

大学

【ゴルフ部】

日本アマチュアゴルフ選手権(7月)

三倉誠生(営1) 駒澤賢一(営3) 本戦出場

関西学生男子秋季一部校対抗戦(9月)

5位

第65回朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権(10月)

駒澤賢一(営3) 藤原大(営2) 出場

ベスト16

関西大学バレーボール連盟秋季リーグ(9月)

一部6位

Inten Cup 関西バレーボール大学

男女選手権大会(11月)

ベスト4

【ボードセーリング部】

TECHNO23 & TECHNO23 & WORLD

CHAMPIONS 2018(8月)

オープンクラス4位・稲垣増茂(済4)

オープンクラス14位・青戸教司(済3)

全日本学生ボードセーリング選手権(12月)

8位・稲垣増茂(済4)

【ホッケー部】

第37回全日本大学ホッケー王座決定戦(6月)

出場

関西学生ホッケー秋季リーグ(10月)

一部7位

【ヨット部】

関西学生ヨット個人選手権大会(7月)

470級5位・藤井純也(済4) 岡畑

純也(営4) 組

スナイプ級3位・津嶋範之(知4) 尾川

翔(営4)

第27回全日本学生女子ヨット選手権

大会(9月)

6位

関西学生ヨット選手権大会(9月)

470級・3位 スナイプ級・4位 総

合成績・2位

第83回全日本学生ヨット選手権大会(11月)

470級・7位

【バドミントン部】

関西学生バドミントン秋季リーグ(9月)

男子団体・二部1位・女子団体・二部2位

第69回全日本学生バドミントン選手権

大会(10月)

男子団体・ベスト32

女子団体・ベスト32

【サッカー部】

関西学生サッカーリーグ(10月)

一部12位

【バスケットボール部】

関西学生バスケットボールリーグ(10月)

二部3位

【フットサル部】

Super Sports MEMO 兵庫フットサル

リーグ(10月)

TOP1部優勝

【ライフル射撃部】

第65回秋季全関西学生ライフル射撃選手

権大会および第24回秋季全関西女子学生

ライフル射撃選手権大会(9月)

10mS 60M団体・第6位

10mS 60W団体・第3位

全日本学生スポーツ射撃選手権大会(10月)

浅木太(法2) 森元麻琴(法3) 出場

【柔道部】

全日本学生柔道優勝大会(6月)

出場

兵庫県柔道団体優勝大会(11月)

優勝

【硬式野球部】

関西学生チャレンジテニストーナメント

(8月)

男子シングルスベスト8・木村靖吉

(営3)

女子ダブルス準優勝・田中依里奈(法3)

濱末(営1) 組

女子ダブルスベスト8・田崎菜々子

(法2) 小嶋真央(文1) 組

関西大学対抗テニスリーグ(9月)

男子一部・3位 女子一部・6位

関西学生テニス選手権大会(9月)

男子ダブルスベスト4 吉田有宇哉

(営4) 福岡航大(営4) 組

女子シングルスベスト8 中島琴乃(営3)

阪神六大学連盟秋季リーグ(10月)

ベスト4

【準硬式野球部】

全日本大学準硬式野球選手権大会(8月)

ベスト4

【剣道部】

第66回全日本学生剣道選手権大会(8月)

寺元佑志朗(済4) 租父江将(済3) 出場

第37回全日本女子学生剣道優勝大会(11月)

団体出場

【硬式庭球部】

関西学生チャレンジテニストーナメント

(8月)

男子シングルスベスト8・木村靖吉

(営3)

女子ダブルス準優勝・田中依里奈(法3)

濱末(営1) 組

女子ダブルスベスト8・田崎菜々子

(法2) 小嶋真央(文1) 組

関西大学対抗テニスリーグ(9月)

男子一部・3位 女子一部・6位

関西学生テニス選手権大会(9月)

男子ダブルスベスト4 吉田有宇哉

(営4) 福岡航大(営4) 組

女子シングルスベスト8 中島琴乃(営3)

阪神六大学連盟秋季リーグ(10月)

ベスト4

【準硬式野球部】

全日本大学準硬式野球選手権大会(8月)

ベスト4

【剣道部】

第66回全日本学生剣道選手権大会(8月)

寺元佑志朗(済4) 租父江将(済3) 出場

第37回全日本女子学生剣道優勝大会(11月)

団体出場

【硬式庭球部】

関西学生チャレンジテニストーナメント

(8月)

男子シングルスベスト8・木村靖吉

(営3)

女子ダブルス準優勝・田中依里奈(法3)

濱末(営1) 組

女子ダブルスベスト8・田崎菜々子

(法2) 小嶋真央(文1) 組

関西大学対抗テニスリーグ(9月)

男子一部・3位 女子一部・6位

【空手道部】

第10回関西学生空手道オープン

トーナメント(9月)

男子組手ジュニア3位・阪井達朗(知1)

女子組手ジュニアベスト8・岡脇聡美(法3)

第61回全関西大学学生空手道選手権大会(10月)

男子団体組手一部残留し全日本大学

空手道選手権大会出場権獲得

【弓道部】

関西学生弓道リーグ(女子)(9月)

二部Bリーグ

【硬式野球部】

第2回全関西学生バドミントン選手権大会(9月)

団体4位・個人6位・高下真行(済4)

【硬式野球部】

阪神六大学野球連盟秋季1部リーグ

(10月)

一部6位・ベストナイン受賞・住江元

(営4)

【女子バスケットボール部】

関西女子学生バスケットボールリーグ

(10月)

【ラクロス部】

関西学生ラクロスリーグ(11月)

三部リーグブロック3位

【ラグビーフットボール部】

関西大学ラグビーフットボールリーグ

(12月)

3位

【女子ハンドボール部】

関西学生女子ハンドボール秋季リーグ

(10月)

三部優勝(一部目動昇格)

【女子ラクロス部】

関西大学対抗テニスリーグ(11月)

三部Dブロック1位

【女子陸上競技部】

オースターナイト陸上秩父宮賜杯

第58回実業団・学生対抗陸上競技大会

(7月)

女子100m2位・西尾香穂(営3)

天皇賜杯第87回日本学生陸上競技対

校選手権大会(9月)

女子4×100m5位・杉浦七海(文

3) 澤谷柚花(営1) 木村瑞穂(済4)

西尾香穂(営3)

第102回日本陸上競技選手権リレー

競技大会(10月)

女子4×100m5位・木村瑞穂(済

4) 鈴木塔子(営2) 杉浦七海(文3)

西尾香穂(営3)

【水泳部】

関西学生選手権(8月)

200M6位 400M5位 三村

海里(済4) 200M8位 山本善太

郎(営4) 200FR4位 100FR

5位・阿部希(済3) 200FR5位

1500FR3位 橋大夢(済2)

400FR5位 400M10位 陶器

佑亮(営2) 1500FR6位 芳田拓

海(済1) 200FR3位 100FR

8位 山本康司郎(営1) リレ

400FR6位 400M6位

800FR1位

【馬術部】

第50回関西学生自馬術大会(8月)

障害飛越競技2位・小林美津樹(文3)

全日本ジュニア障害馬術大会(8月)